

新型コロナウイルス感染症対策のおもな支援事業

蓮田市(第1次補正)

- 就学援助等臨時給付金(2万円)
- 小規模事業者等支援給付金(10万円)
- 有料指定ごみ袋の全世帯配布(燃えるごみ用45ℓ・30ℓ 各10枚)
- 水道料金の減免(6月検針分から6ヶ月半額)
- こども医療費助成業務経費(令和3年1月から、対象拡大のための電算システム改修費等)

蓮田市(第2次補正)

- 学校給食費補助(9月から6ヶ月 小学校一月2200円、中学校一月2400円)

(その他)

- 議員報酬10%×3ヶ月の削減
- 市長20%、副市長10%、教育長5%の給与6ヶ月削減

埼玉県(第2次補正)

- スクール・サポート・スタッフ配置(小中学校13校に1名ずつ)
- 学習指導員配置(大規模校に2名)



新型コロナウイルス感染防止のための「新しい生活様式」

「新しい生活様式」の実践例

基本的な対策

- 人との間隔は、できるだけ2m空ける
- マスクを着ける。熱中症には十分注意する
- 帰宅したら、まず手や顔を洗い、すぐに着替える

移動
感染流行地域への出入りを控える。接触確認アプリを活用

部屋
小まめに換気し、密集、密接、密閉の「3密」を避ける

健康チェック
毎朝、体温を測り、発熱や風邪症状があれば自宅で療養

公園や公共交通機関
すいている時間を選び、会話は控えめに

イベントなどへの参加
接触確認アプリを活用。発熱、風邪症状があったら参加しない

買い物
すいている時間に素早く計画的に。通販や電子決済も活用

食事
大皿を避けて個別に料理を取り、グラスやおちょこの回し飲みは避ける。おしゃべりを控えめに料理に集中

働き方
テレワークやローテーション勤務、時差通勤を活用。会議はオンラインで

※厚生労働省の資料を基に作成

熱中症予防 × コロナ感染防止で
「新しい生活様式」を健康に!

「新しい生活様式」とは：新型コロナウイルス感染防止の3つの基本である ①身体的距離の確保 ②マスクの着用 ③手洗いの実施や「3密(密集、密接、密閉)」を避ける、等を要入れた日常生活のこと。

注意 マスク着用により、熱中症のリスクが高まります
マスクを着けると皮膚からの熱が逃げにくくなり、気づかないうちに脱水になるなど、体温調節がしづらくなってしまいます。暑さを避け、水分を摂るなどの「熱中症予防」と、マスク、換気などの「新しい生活様式」を両立させましょう。

熱中症を防ぐために マスクをはずしましょう

屋外で **人と2m以上** (十分な距離) **離れている時**

..... **マスク着用時は**

激しい運動は避けましょう
のどが渇いていなくても **こまめに水分補給をしましょう**

気温・湿度が高い時は
特に注意しましょう

ウイルス感染対策は忘れずに!